

第9回「子ども学会議」報告

(第9回 日本子ども学会 学術集会)

第9回 日本子ども学会 学術集会を開催して

大会長 安梅勅江 (筑波大学大学院教授)

第9回日本子ども学会学術集会には多くの方々にご参集いただき、活発な交流の場となりましたことを心より御礼申し上げます。

学術集会テーマは「子どもの生きる力を育む、エンパワメント環境づくり」。子どもたちが「生きる力」を未来に向かって最大に発揮する仕組みを、参加された皆さんと一緒に考えました。

大会初日は、小泉英明先生（日立製作所 フェロー）の基調講演「Sense of Wonder を育む科学と環境づくり」で、Sense of Wonder が紡ぐ未来への大きな可能性をご示唆いただきました。シンポジウム「子どもの生きる力を育むエンパワメント」では、落合早苗先生（石巻市コミュニティサロン ジョイナスアイトピア代表）、三浦剛先生（東北福祉大学教授）、有村大士（日本子ども家庭総合研究所主任研究員）に、新たな地平の展開に向かう道筋をお話いただきました。

一般演題発表では本学会初の優秀賞が3人の方に授与され、イブニング・ミーティングの際に表彰式が行われました。

2日目のワークショップ「触れる、つくる、感じる 木育エンパワメント」では、松井勅尚先生（森林文化アカデミー教授）、雲山晃成先生（美濃保育園園長）、野倉照子（下牧保育園園長）による木育講座でペンダントづくりを行い、木育エンパワメントを実践しました。

「子育て子育てエンパワメント WEB 活用の可能性」の大会長講演の後、多田千尋先生（東京おもちゃ美術館館長）によるワークショップ「つながる、かがやく、ひびく おもちゃエンパワメント」では、多彩なおもちゃに触れながらその効果を体感いただきました。

最後に石井享子先生（法政大学教授）に「スピリチュアル・ケアとエンパワメント」の教育講演をいただき、共感し共創するエンパワメントの心髄を感じていただきました。

本学術集会の成果が、保育、教育、保健、医療、福祉、芸術、安全管理など多彩な領域におよぶ実践者と研究者の知恵を学際的に架橋し、子どもたちのエンパワメント環境づくりにつながる一助となりますことを祈念しております。



● 大会概要

テーマ：子どもの生きる力を育む エンパワメントと環境づくりに向けて

日 程：2012年10月20日（土）・21日（日）

会 場：JST 東京本部別館 1階ホール

主 催：日本子ども学会

後 援：(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター



プログラム

● 第1日目

10:00 開会式

10:10 基調講演 「Sense of Wonder を育む科学と環境づくり」

小泉英明 (日立製作所 フェロー)

座長/小林 登 (日本子ども学会理事長、東京大学名誉教授)

13:30 シンポジウム 「子どもの生きる力を育むエンパワメント」

落合早苗 (石巻市コミュニティサロン ジョイナスアイトピア代表)

三浦 剛 (東北福祉大学教授)

有村大士 (日本子ども家庭総合研究所 主任研究員)

座長/安梅勅江 (筑波大学大学院教授)

15:45 一般演題発表

17:30 イブニング・ミーティング/ポスター優秀賞表彰式

● 第2日目

10:00 ワークショップ1 「触れる、つくる、感じる 木育エンパワメント」

松井勅尚 (森林文化アカデミー教授)

雲山晃成 (美濃保育園園長)

野倉照子 (下牧保育園園長)

座長/安藤寿康 (慶應義塾大学教授)

11:30 大会長講演 「子育て子育てエンパワメント WEB 活用の可能性」

安梅勅江 (筑波大学大学院教授)

13:00 ワークショップ2 「つながる、かがやく、ひびく おもちゃエンパワメント」

多田千尋 (東京おもちゃ美術館 館長)

座長/榊原洋一 (お茶の水女子大学教授)

14:45 教育講演 「子どもたちのスピリチュアルケアとエンパワメント」

石井享子 (法政大学教授)

座長/一色伸夫 (甲南女子大学教授)

15:45 閉会式